



## 飯能ロータリークラブ会報



石原橋下の釣人 Fishing under the Ishihara bridge ...

© photo by Isao Yoshida

よいことのために手を取りあおう

# Unite for Good

RI会長 フランチェスコ・アレツツォ

第2570地区ガバナー 坂口 孝  
第3グループ  
ガバナー補佐 高橋 和男

クラブ強化と活性化のために行動してください！

**第3184例会 2025. 8. 20**

—— 会員増強推進月間 ——

天 候 晴 (NO. 62-08)

会 長 中里 忠夫 幹 事 都 築 敏 夫

例会日 水曜日 (12:30～13:30) 当 番 馬場君、新井君

例会場：ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎ (042) 975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局：飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎ (042) 973-1661 FAX (042) 973-1662

<http://www.hanno-rc.org/>

E-mail hannorc@hanno.jp

### 《ガバナー補佐訪問》

- ・点 鐘 中里忠夫会長
- ・ソング それでこそロータリー
- ・ビジター 2025 - 2026 年度  
国際ロータリー第2570地区  
第3グループガバナー補佐  
高橋和男様 (所沢西RC)
- ・卓 話 高橋和男様 (所沢西RC)

ホール」。13時40分、写真撮影、5階「写真室」。  
14時、6階にてクラブ協議会。時間と場所を間違えないようお願いいたします。2570地区ポリオデーとして「日本スリーデーマーチ」(東松山)に参加。11月2日(日)9時集合。参加希望の方は幹事までご連絡ください。

### 【会長報告】

例会前に高橋ガバナー補佐に関係書類の閲覧等を行って頂き、いろいろご指導ご指摘を頂きまして大変勉強になりました。有難うございました。

再選された新井市長の任期初日、8月8日に都築幹事と表敬訪問して参りました。時間は10～15分でしたが、飯能RCの現状等お話し、有意義な時間でした。



### 【幹事報告】

第2回理事会議事録、9月のプログラム予定表を配付。新会員選考の件でご異議のある方は8月26日までに理事会に書面で理由をご提出願います。公式訪問では制服着用ですが作っておられない方は紺系ブレザーとグレー系ズボンが制服となります。ネクタイは60周年記念で配付したブルーのものを着用。11時30分、ガバナーと役員懇談会。11時50分、ガバナーと入会3年未満の会員懇談会。会場は共に11階「銀河」。12時30分、例会、6階「ヘリテージ

### ◎RLI 受講修了証の授与

中里会長

左から、井上 隆、市川 昭、都築敏夫会員。

### 【委員会報告】

◎親睦活動委員会

鈴木(勝)君

10月22日の夜間例会はメッツァ内「ラーゴム」にて開催します。申込は9月17日まで。出欠を早目にお知らせ頂けると助かります。

◎会報・広報委員会

田中君

本日配付の会報に誤植がございました。1頁目「第3180例会」は正しくは「第3182例会」で

す。お詫びして修正させていただきます。

◎前年度幹事

大崎君

前年度の各委員長に「年次報告校正のお願い」を配付しました。ご確認頂き本日お帰りまでに事務局にお戻し願います。前年度幹事からの最後のお願いでございました(笑)。

【出席報告】無届欠席0・MU0 大野(泰)出席向上委員長

会 員 数		当 日	
全 数	対 象	出席数	出席率
68名	4名	57名	83.82%

【ロータリーの友】

吉田(茂)雑誌委員

8月号。横組P42に説明がありますが表紙絵は沖縄首里RC・池田さんの作品。夏にピッタリの、よく晴れた沖縄の空と赤レンガの屋根を描いたとのこと。P5「会員増強のためのヒント」「優先事項と魅力的なクラブ活動」等。P10、「戦略的オープン例会」にゲストを招く際のノウハウが掲載。今後の運営に役立てて頂ければと思います。P12「カルガリー国際大会10のハイライト」写真掲載。現地の雰囲気やRIの新しい潮流が分かります。縦組P18、卓話の泉「オメガ3脂肪酸」お魚料理が今後食卓に増えるかもしれません。P2「“復活”したトランプの世界戦略」トランプさんの考え方で国際的なRIの動向に影響が今後出るかもしれません。参考になるのではないかと思います。

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

・ガバナー補佐高橋和男様、本日はよろしくお願い致します。中里会長、市川会長エレクト 服部副会長、都築幹事、伊澤SAA  
・早退します。小川君、土屋君、川口君  
本日計10,000円、累計額192,000円。  
◎27日例会当番は福島、藤原会員です。

【卓 話】

講師紹介

中里会長

## ガバナー補佐卓話

2025-2026年度国際ロータリー第2570地区  
第3グループガバナー補佐

高橋和男様(所沢西RC)

先日MUで例会にお邪魔した際には温かく迎えて頂き誠に有難うございました。

本日は補佐訪問ということで、改めまして自己紹介をさせていただきます。縁あって2570地区第3グループガバナー補佐を仰せつかりました。未熟者ですが1年間どうぞよろしくお願い致します。1961年2月生まれ64歳。生まれも育ちも入間郡三芳町で、地元小中学校を出て県立高校から都内私立大学に進学致しました。中学は柔道部、高校は吹奏楽部、大学では体育会系



の自動車部とバラバラなのですけれども青春を満喫しました。学生時代、満喫し過ぎてどこかの市長のように袖の下からという覚えは無いのですが、毎回給付金の要望がきくのでたぶん卒業しているとは思いますが(笑)。現在は父の起こした会社を

継いで一般貨物自動車運送事業(運輸業)、一般旅客自動車運送事業(観光バス)、霊柩事業、旅行業を営んでおります。住まいは若い頃より所沢市内でして、所沢青年会議所に長いこと在籍していた関係で先輩から所沢西RCに入れと言われ(2009年)、現在16年目。RCの魅力も厳しさも温かさやと感ぜられるようになった頃でございます。

本日は補佐としての立場から、ガバナー補佐の役割、坂口ガバナーの方針とその実現への助言等説明し、そのあと「ロータリアンとは何か」ということを私なりの視点でお話させていただきます。人生そしてRCの大先輩の方々の前で、お恥ずかしく甚だ僭越でございますけれども少しでもご参考にして頂ければ幸いと存じます。

### ■ガバナーとガバナー補佐の役割

ガバナーと補佐の役割は大きく異なります。ガバナーはRIや地区の方針を示し全体の調和と方向性を導く存在で、言わば「舵取り役」。一方、補佐はクラブ一つ一つと向き合いながら、その活動をサポートする「伴走者」であると思っております。どのクラブにも歴史があり雰囲気があり悩みがあります。一律に指導するのではなく、寄り添い励まし、時には黙って見守ることも補佐の役割だと思っております。

今年度の坂口ガバナーは「強いクラブをつくる」という明確なテーマを掲げておられます。ここで大切な視点は「クラブが主体である」という考え方です。ガバナーも地区もRIもクラブを支えるために存在しています。クラブがRI、地区のためにあるのではなく、RI、地区がクラブのためにあるという視点を坂口ガバナーは大切にされています。私もこの考え方に非常に共感しており、クラブを支えることこそが補佐である私の使命です。皆様のクラブが元気に楽しく誇りをもって活動できるよう少しでもお手伝いできたらと思っております。

### ■「強いクラブ」とは？

「強いクラブ」とは単に会員数が多いクラブではなく、会員一人一人が誇りをもち積極的に参加し地域社会やクラブ内で影響力を発揮できるクラブのことです。具体的には以下のような特長をもつクラブが強いクラブと言えるでしょう。

#### ①目的意識のあるクラブ

クラブの理念や方針が明確であり会員がそれを共有し実践している。RCの「四つのテスト」



や奉仕の理念が日々の活動に反映されている。

## ②会員のベクトルが揃ったクラブ

会員それぞれの思いや意見を尊重しながらもクラブ全体として同じ方向に向かっている。会長・役員がリーダーシップを発揮し共通の目標に向けた意識の統一が図られている。

## ③活動が活発で地域に貢献するクラブ

地域社会の課題に積極的に関与し奉仕活動を継続的に実施している。クラブの取り組みが地域から評価され、このクラブがあるからこの地域が良くなると認識される存在である。

## ④未来を見据えたクラブ

次世代のリーダーを育成し、継続的な発展を図っている。若手会員や新入会員が定着しRCの価値を学びながら成長できる環境が整っている。世代を越えた交流が活発で全員が意見を言い易い雰囲気がある。

### ■RCにとって活性化とは？

RCにおける活性化とは、クラブの存在意識を高め、会員がより積極的に参加し意義ある活動を展開できる状態を指します。単に会員数を増やすだけでなくクラブの魅力を高め持続可能な成長を促すことが重要です。

### ■具体的な活性化のポイント

#### ①会員のエンゲージメント(関与)向上

例会や活動に参加したくなる仕組みづくり、例えば魅力的な例会やイベントの企画等、会員が役割をもち、貢献を実感できる環境を整える。

#### ②新しい会員の獲得と定着

若手、女性会員の勧誘を積極的に行い、クラブの多様性を高める。新会員がRCの価値を理解し易いようメンター制度やオリエンテーションを充実させる。

#### ③クラブのベクトルを揃える

各会員の意識がバラバラではなく、クラブの目指す方向性が明確で、会員が同じベクトルをもって活動できる環境をつくる。会長だけが頑張るのではなく、役員や委員長、一般会員も一丸となり、クラブの活性化に向けた共通の目標をもつ。

#### ④クラブのブランディングと広報活動

SNSやウェブサイトを活用しクラブの活動を積極的に発信する。地域のメディアと連携しRCの存在をより多くの人に知ってもらう。

#### ⑤奉仕活動の質の向上

一過性のプロジェクトではなく、長期的に地域に貢献できる活動を計画する。他の団体や行政との協力を深め、より大きな影響を与える取り組みを行う。

#### ⑥クラブ運営の効率化

会議の進行をスムーズにし、効率的な運営を心掛ける。デジタルツールを活用し情報共有や会員管理を簡素化する。

### ■活性化を実現するために

会長のリーダーシップが不可欠。会長としてビジョンを明確にし、会員と共有することでクラブの方向性が定まります。

#### ①会長としての意識改革

自らがクラブの模範となり積極的に行動する。会員の声に耳を傾けチームとしての運営を心掛ける。

#### ②クラブ内での意識共有

役員や委員長と協力し活性化のための具体的なプランを立てる。例会や活動での楽しさと意義を両立させ、参加意欲を高める。

#### ③クラブのベクトルを整える仕組みづくり

会員それぞれが自主的に活動できるようクラブの目指すべき方向を明確にする。例会や委員会定期的にクラブ目標について話し合い、ベクトルのずれを調整する。

#### ④実行と検証を繰り返す

計画した施策を実行し定期的に振り返る。必要に応じて改善を加えながら持続的な成長を目指す。

要するに「強いクラブ」とは単に活発に活動しているクラブではなく、会員一人一人がRCの価値を理解し、共通の目標をもって進むクラブのことです。そのためにはRCのベクトルを揃えることが不可欠で、方向性がバラバラなクラブではいくら活動を増やしても本当の意味での活性化には繋がりません。逆に全員が同じベクトルをもって活動すればクラブの一体感が生まれRCの理念に沿った「強いクラブ」へと成長していくと思います。

### ■RCに細かいルールがある理由

RCにはどうしてこんなにルールが多いのでしょうか。出席、職業分類、例会運営、規定審議、報告書、「四つのテスト」…。私なりにその理由をこう考えております。RCが単なる「なかよしクラブ」ではないからこそルールがある。社会的に信頼され公益性をもつ団体として透明性や継続性を保つためにはやはり一定の規律が必要なのである。

ただし、ここが大切なポイントなのですが、ルールを守ること自体が目的になってはいけません。ルールはあくまでも道しるべです。それを守ることによって皆が安心して活動でき、意思の疎通もスムーズになります。でも、人としての品格を損なってまで杓子定規に運用するものではないと思っております。

### ■RCが誤解されないために

私達RCの活動は外から見ると分かりにくいこともあります。時には「お金持ちの道楽」「内輪だけの集まり」と思われることすらあります。だからこそ、ロータリアンは「品格」を身につけた人格者であるべきだと私は思っております。会員一人一人が誠実で温かく謙虚であれば、地域の人々から自然と信頼され、「私もあのクラブに入りたい」と思ってもらえるようになると思います。

### ■品格とは何か？

それはその人のもつ人格的な上質さや内面からにじみ出る立ち振る舞いの美しさ、気品を指します。具体的に分解すると、次の要素が含ま

れます。

#### ①礼儀正しさ

挨拶や言葉遣い、態度に礼節がある。相手を尊重する心が表れている。

#### ②思いやり・配慮

自分本位にならず他人の立場や気持ちを思いやる姿勢。必要以上に自己主張せず空気を読む力。

#### ③落ち着き・配慮

感情に振り回されず冷静に対処できる。慌てず騒がず堂々としている。

#### ④謙虚さ

自慢しない。驕らない。失敗を素直に認め学ぶ姿勢がある。

#### ⑤節度と品位

派手過ぎず下品でない服装や言動。時・場所・相手に相応しい振る舞い。

#### ⑥教養と知性

言葉選びや会話に深みがある。書物や経験によって磨かれた人間的深さ。

#### ⑦責任感と誠実さ

自分の言動に責任をもち、約束を守る。嘘をつかず真摯に行動する。

#### ■例えるならば…

##### ①品格は外見ではなくにじみ出るもの

高級な服を着ていても態度が横柄であれば品格が無いと言われますし、質素な服装でも言葉や所作に品があれば品格がある人と感じます。

##### ②品格がある人の印象

一緒に居ると安心できる。誰に対しても公平で敬意を払っている。周囲に対して良い影響を与えている。

#### ■品格を養うためにどのようなことを実行すべきか？

##### ①挨拶と感謝を丁寧にする

「おはようございます」「有難うございます」「お蔭様で」等、基本的な挨拶、感謝の言葉を気持ちを込めて伝える。

##### ②言葉遣いを意識する

汚い言葉や乱暴な口調は避け、穏やかで丁寧な日本語を心掛ける。「でも」「どうせ」「あの人が悪い」といった否定的な言葉を減らす。

##### ③自分を客観視する

自分の言動が相手にどう映るか、場に相応しいか、一歩引いて考える。感情的になりそうな時こそ、間をとる習慣を身につける。

##### ④他人の話を最後まで聴く

相手が話している途中で口を挟まず、共感と関心をもって耳を傾ける。相槌や頷きも意識する。

##### ⑤姿勢と所作を整える

背筋を伸ばし、歩き方、座り方にだらしなさが出ないように意識する。物を扱う時は静かに丁寧に行う。

##### ⑥清潔感を保つ

服装や靴、髪、爪等の身だしなみに気を配る。高価な物より清潔で整っているかに気を遣う。

##### ⑦約束や時間を守る

小さな約束でもきちんと守ることで信頼が積み重なり品格ある人として認められる。遅刻、ドタキャンをしない。

##### ⑧弱い立場の人こそ丁寧に接する

店員や部下、子ども等、自分より立場が弱い相手への接し方に本当の品格が表れる。

##### ⑨学び続ける姿勢をもつ

読書や新聞、人との対話を通じて教養や知識を深める。特に日本文化や歴史への理解は品格を育てる土台となる。

##### ⑩見返りを求めず良い行いをする

人が見ていなくてもゴミを拾ったり席を譲ったりする。徳を積む行動を日常的に行う。

#### ■まとめとして…

「品格」は育ちや学歴ではなく、日々の言動の積み重ねです。特別なことをするより、人として当たり前のことを当たり前に行う姿勢が周りからの信頼に繋がります。また、品格は他人から与えられるものではなく自ら築き上げていくものです。言葉、態度、心構えの全てが繋がって周囲に「この人は信頼できる」と思わせる。それが本当の品格です。中でも特に感謝の気持ちはとても大切です。実は感謝できる人は年齢に関係なく若々しいのです。「有難う」「お蔭様」という言葉を自然に言える人間は周囲に明るさを与え良い空気をつくります。実年齢ではなく感謝できる人こそ心が若い人です。

#### ■RCは学びの場

RCは私達にとって人生後半に出合った最高の学校です。でも普通の学校と違ってここには先生も居ませんしテストもありません。自分で課題を見つけ自分で考え自分で成長していく場所です。正解は一つではありません。他クラブの成功事例を真似ても上手くいかないこともあります。大事なのは自分達らしさを大切にしながら学び続ける姿勢だと思います。

#### ■行動を起こすことの価値

坂口ガバナーがよく言われるのは、まず行動することです。やる前から「無理だ」「難しい」と思うのではなく「どうしたらできるのか」を考える。請われた役はなるべく引き受けてやってみる。そうした小さな行動がクラブを元気にし仲間を動かします。

#### ■できる人ができることを真剣に

会員はそれぞれ年齢、経歴を含め、全く違う背景や個性をもっています。ですので、全ての会員が同じように活動できるわけではありません。でも、できる人ができることを真剣にやる。それで十分です。真剣な姿は人を動かし連鎖を生みます。それこそが「強いクラブ」をつくる力になるのだと私は思っております。

ガバナー補佐という立場ではありますが、皆様の活動の現場に寄り添い、微力ながら支えていければと思っております。共に学び共に笑い共にクラブを育てていく仲間として、今後共どうぞよろしくお願い致します。